

|         |                                                                                                                                                                                                              |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国土交通省   | (1)水害に強い人づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3～P9<br>《内容： 防災教育・出前講座の推進》<br>(2)情報伝達のための環境づくりの推進<br>《内容： 合同ラジオにおける防災情報の発信》<br>《内容： 大雨・台風時の合同説明会》<br>(4)内水被害軽減に向けた取組の実施<br>《内容： ワンコイン浸水センサの設置》<br>《内容： 小丸川において樹木伐採を実施》 |
| 宮崎地方気象台 | (2)情報伝達のための環境づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10～P12<br>《内容： 防災気象情報の充実》                                                                                                                                          |
| 宮崎県     | (1)水害リスク情報の提供・充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13～P18<br>《内容： 洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地域の解消》<br>《内容： 出前講座・防災学習の実施》<br>《内容： 防災啓発》<br>《内容： 防災情報の共有》                                                                       |
| 高鍋町     | (1)水害に強い人づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19～P22<br>《内容： 防災士の養成について》<br>《内容： 自主防災組織の育成支援について》<br>(2)情報伝達のための環境づくり推進<br>《内容： 防災行政無線「戸別受信機」貸与事業》                                                                   |

## 木城町

(1)水害に強い人づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・P23～P26

《内容： 住民避難訓練の実施》

《内容： 防災出前講座の開催》

(4)内水被害軽減に向けた取組の推進

《内容： ワンコイン浸水センサの設置》

## 川南町

(1)水害に強い人づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・P27～P30

《内容： 消防団の魅力発進》

《内容： 防災ハザードマップの更新・配布》

## 【令和5年度】施策の取組事例

# 国土交通省 宮崎河川国道事務所

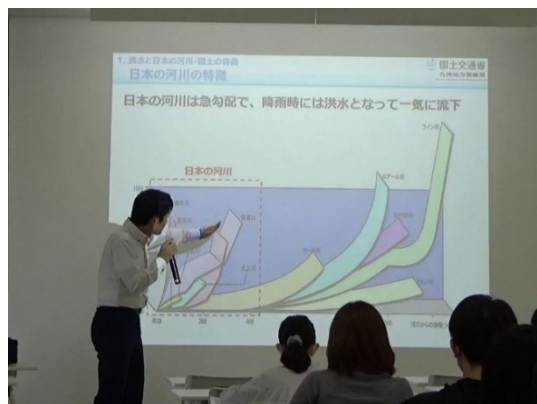
- 取組(1) 水害に強い人づくりの推進  
「防災教育・出前講座の推進」
- 取組(2) 情報伝達のための環境づくりの推進  
「合同ラジオにおける防災情報の発信」  
「大雨・台風時の合同説明会」
- 取組(4) 内水被害軽減に向けた取組の実施  
「ワンコイン浸水センサの設置」  
「小丸川において樹木伐採を実施」

宮崎河川国道事務所では、教員を目指す学生等を対象に出前講座を実施しました。

## <宮崎国際大学>

○令和5年10月7日(土)

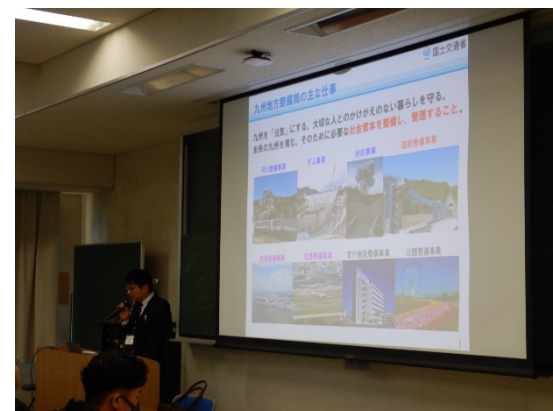
○内容：風水害と対策



## <宮崎公立大学>

○令和5年10月24日(火)

○内容：自然災害と防災



## <宮崎大学>

○令和5年12月21日(木)

○内容：水災害と防災減災



生徒の授業感想を見ると「防災情報を確認し、事前に備えておきたい」というような感想が多く、防災意識が高まっていることを感じたところ。今回の講義が生徒たちの防災士資格取得に繋がることを期待。



宮崎河川国道事務所では、地域へのより一層の防災教育の普及・推進を目的に高鍋高校に対する防災教育を実施しました。

令和5年10月26日(木)

相手方：高鍋高校探求科学科 1 年生

内 容：河川整備と防災について



宮崎河川国道事務所では、地域への防災教育として、MRTラジオ×エフエム宮崎の2局合同防災ラジオで防災に関する国の取り組みについて発信しました。

- 令和5年8月31日(木)
- 2局合同防災ラジオ2023「地震防災タイムライン」
- 内容:防災に関する国土交通省の取り組みについて





前線に伴う大雨や台風第6号の接近により災害発生危険度が急激に高まる可能性があるため、住民に対し早めの避難行動を呼びかけることを目的に、合同説明会を実施し、警戒レベルの説明や防災情報の取得について周知しました。

● 令和5年7月1日大雨に関する合同説明会  
日時: 令和5年6月30日(金) 13時30分～  
形式: オンライン

● 令和5年7月3日大雨に関する合同説明会  
日時: 令和5年7月3日(月) 11時00分～  
形式: オンライン

● 令和5年台風第6号に関する合同説明会  
日時: 令和5年8月6日(日) 10時00分～  
場所: 宮崎地方気象台会議室(1階) (WEB併用)



実証実験中のワンコイン浸水センサについて、町と連携し設置を行った。

**浸水被害の把握**

ヘリによる調査

リアルタイム性

- 悪天候時に調査不可
- 夜間調査不可

痕跡調査

機動力

- 広範囲の調査不可
- 多数の人材確保
- 専門の技術者が必要

**ワンコイン浸水センサ**

センサの特徴

- 小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ
- 小型
- 低コスト
- 長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築

保険会社

警備会社

店舗管理

河川管理

施設管理

市町村

データ集約

表示イメージ

**活用イメージ**

【災害時】

- 早期の人員配置
- 道路冠水による通行止め
- 避難所の開設 等
- ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- 罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- 保険の早期支払い
- 災害復旧の早期対応

など



浸水センサ表示システム（デモ画面）



浸水センサ設置状況（高鍋町内）



浸水センサ設置状況（木城町内）



小丸川において河道の維持管理として河道掘削を実施しました。



【令和5年度】施策の取組事例

## 気象庁 宮崎地方気象台

- 取組(2)情報伝達のための環境づくりの推進  
「防災気象情報の充実」

・防災気象情報の充実

「顕著な大雨に関する気象情報」について、これまで発表基準を実況で満たしたときに発表していましたが、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、令和5年(2023年)5月25日から、雨量等の予測技術を活用し、最大30分程度前倒して発表する改善を実施しました。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

大雨に関する気象情報など

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

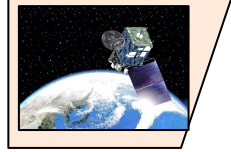
令和3(2021)年  
線状降水帯の発生をお知らせする情報  
(令和3年6月提供開始)



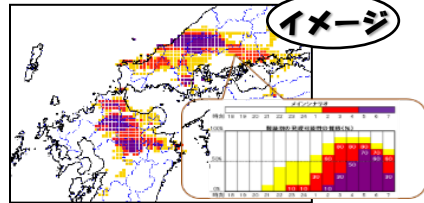
令和4(2022)年～  
広域で半日前から予測  
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～  
県単位で半日前から予測

次期静止気象衛星  
(令和11年度運用開始予定)



令和11(2029)年～  
市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



線状降水帯の雨域を表示  
顕著な大雨に関する気象情報

昨年の新たな運用  
令和5(2023)年～  
最大30分程度早い段階で発表  
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～  
2～3時間前を目標に発表

雨量予測等の活用

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に予測の活用範囲を広げ少しでも早いタイミングで発表



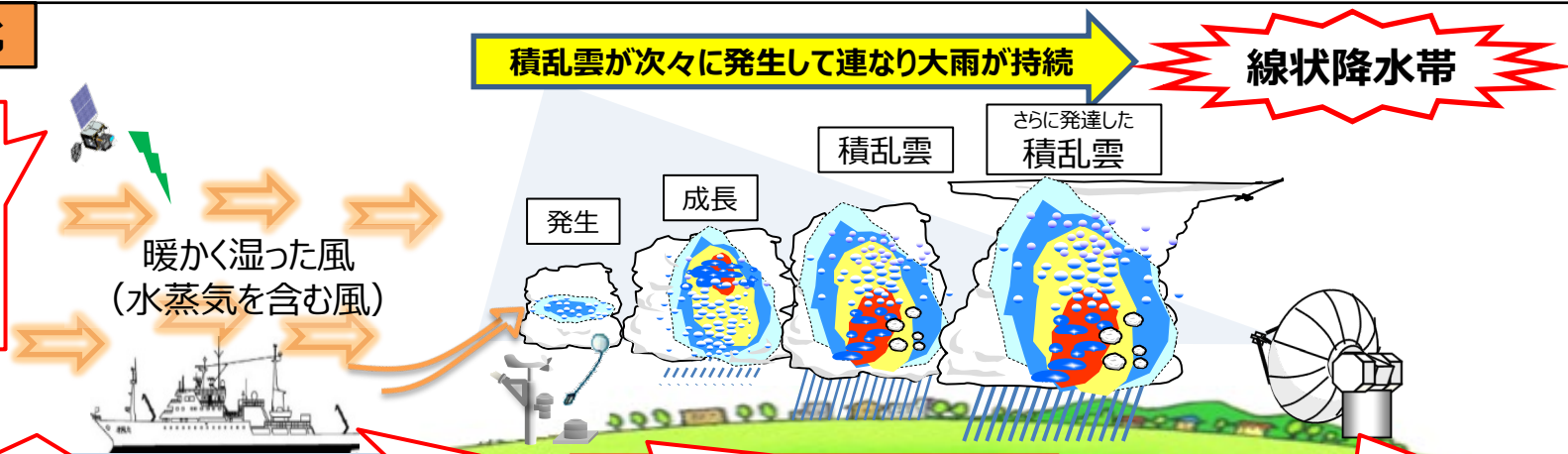
## 【参考】線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（観測・予測の強化）

線状降水帯は、現状の観測・予測技術では、正確な予測が困難なため、水蒸気観測等の強化、強化した気象庁スーパーコンピュータや「富岳」を活用した予測技術の開発等を進め、速やかに防災気象情報の高度化に反映し、住民の早期避難に資する情報を提供する。

### 観測の強化

#### 「次期静止気象衛星」

- 令和5年に整備着手  
令和11年度に運用開始予定



#### 「気象衛星観測の強化」

- 極軌道気象衛星受信装置、最新センサ活用に係る技術開発

#### 「洋上観測の強化」

- 海洋気象観測船の代船建造、船舶GNSS観測の拡充により、線状降水帯上流の水蒸気観測能力の強化

#### 「大気下層の観測の強化」

- マイクロ波放射計、アメダス更新（湿度観測を追加）、高層気象観測装置の更新強化により、大気下層の水蒸気観測能力の強化

#### 「局地的大雨の監視の強化」

- 二重偏波気象レーダーにより、正確な雨量、積乱雲の発達過程を把握し、局地的大雨の監視能力を強化

水蒸気量等の観測データ

### 予測の強化

#### 「次世代スーパーコンピュータの整備等」

- ・高度化した局地アンサンブル予報等の数値予報モデルによる予測精度向上等を早期に実現するためのスーパーコンピュータシステムの整備
- ・線状降水帯の機構解明のための、梅雨期の集中観測、関連実験設備（風洞）の強化
- ・スーパーコンピュータ「富岳」を活用した予測技術の開発



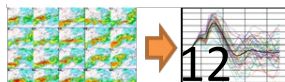
#### 予測モデルの高解像度化

より細かく、高度な気象予測を実施可能に



#### アンサンブル予報

大量の予測計算を実施し、これらの結果を分析することにより、より確からしい予報を提供





## 【令和5年度】施策の取組事例

# 宮崎県

### ■取組(1)水害リスク情報の提供・充実

「出前講座・防災学習の実施」

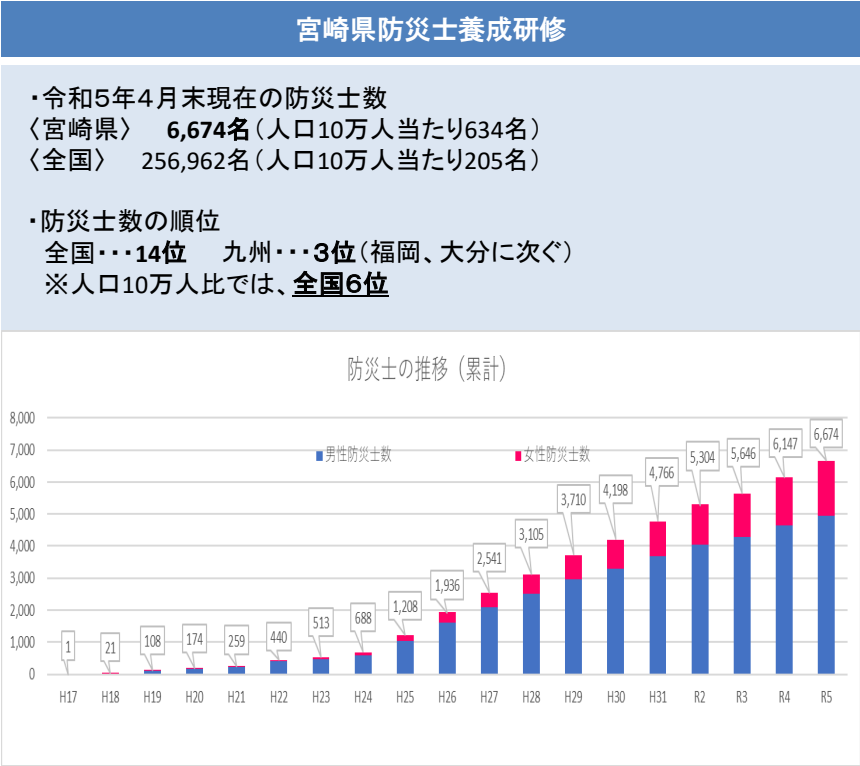
「防災啓発」

「防災情報の共有」

「洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地域の解消」

出前講座・防災学習の実施 【宮崎県危機管理課】

- 防災士養成研修…災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座…自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。

【防災士出前講座の主な内容】

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

【令和5年度実績】  
開催回数: 157回 延べ8,748人  
内訳: 地域住民 81回、小学校 15回、中学校 9回、高校 8回  
民間企業 39回 等

| 区分                  | 対策内容         | 実施内容              | 事業主体 | 工 程 |     |     |
|---------------------|--------------|-------------------|------|-----|-----|-----|
|                     |              |                   |      | 短 期 | 中 期 | 中長期 |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 出前講座・防災学習の実施 | 防災士養成研修・防災士出前講座 等 | 宮崎県  |     |     | 14  |

防災啓発 【宮崎県危機管理課】

- 宮崎県防災の日（5月第4日曜日）における普及・啓発事業
- 防災週間（8月30日～9月5日）における普及・啓発事業

令和5年度宮崎県防災の日(令和5年度は5/28)における啓発事業

令和5年度防災週間における啓発事業

より多くの人には防災に触れてもらい(見て、聞いて、体験して)、興味関心を持ってもらうため、イオンモール宮崎にて防災の日フェアを開催した。



(チラシ)



(ヒナタテラス)



(北側駐車場)

台風シーズン前の8月30日～9月5日にかけて、テレビ、SNS広告等で啓発した。

- ①避難情報の周知、避難場所・避難のタイミング
- ②備蓄・非常持出品

|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| テレビCM            | 4 5 本               |
| テレビ告知（60秒）       | 3 回                 |
| ラジオ取材            | 1 回                 |
| 街頭ビジョン（アミュビジョン）  | 2 3 8 回             |
| 街頭ビジョン（一番街ビジョン）  | 5 3 2 回             |
| SNS広告（Youtube）   | 4 2 6 , 4 1 5 回     |
| SNS広告（Instagram） | 1 , 0 1 2 , 1 9 6 回 |



宮崎県 防災週間8月30日～9月5日

①



②

| 区分                  | 対策内容                     | 実施内容   | 事業主体 | 工 程 |     |     |
|---------------------|--------------------------|--------|------|-----|-----|-----|
|                     |                          |        |      | 短 期 | 中 期 | 中長期 |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 住民自らの避難行動に資するためのリスク情報の共有 | 防災啓発 等 | 宮崎県  |     |     |     |

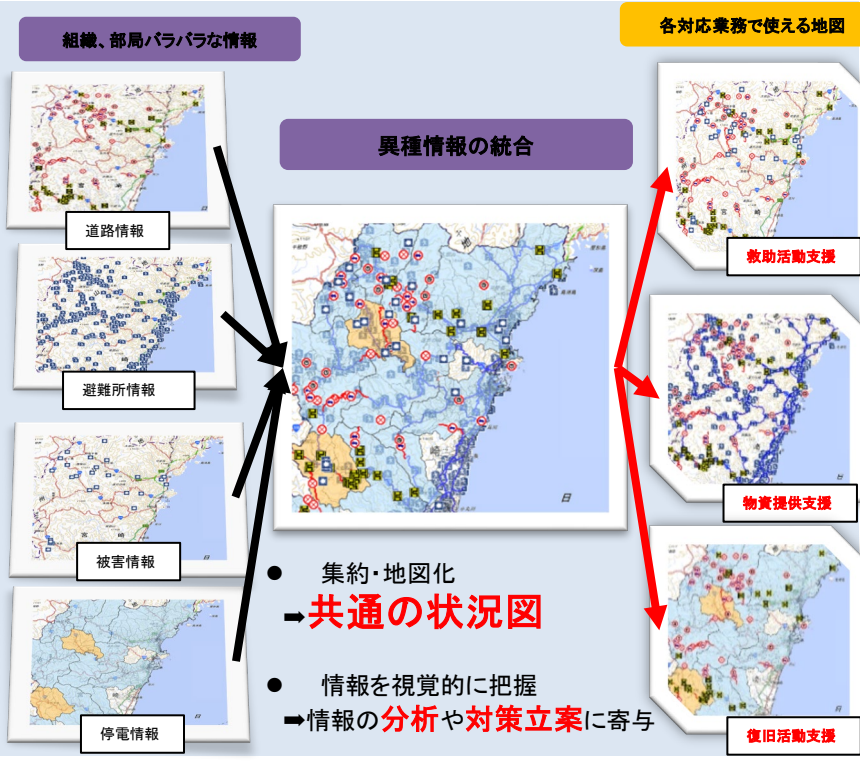
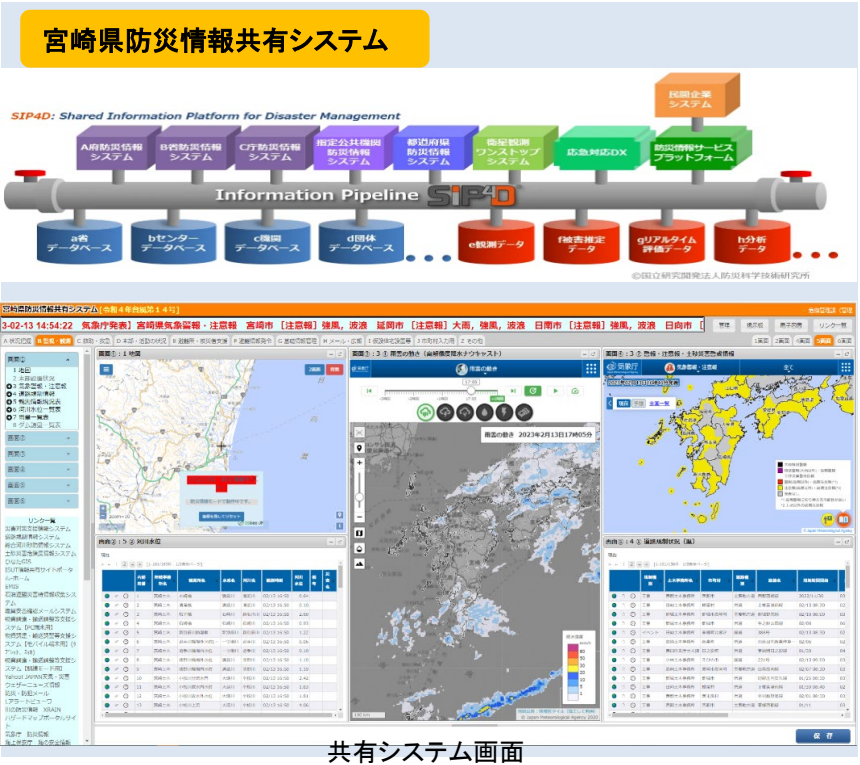


防災情報の共有【宮崎県危機管理課】

宮崎県防災情報共有システム＝SIP 4 D利活用システム  
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク

システムの概要

システムのイメージ



| 区分                  | 対策内容     | 実施内容    | 事業主体 | 工程 |    |     |
|---------------------|----------|---------|------|----|----|-----|
|                     |          |         |      | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 水防災意識の醸成 | 防災情報の共有 | 宮崎県  |    |    |     |

- 洪水予報河川・水位周知河川以外の小規模河川においても、浸水想定図を作成することで水害リスク情報空白域を解消していく
- 作成した洪水浸水想定区域図データを提供することで、ハザードマップ作成に活用いただく

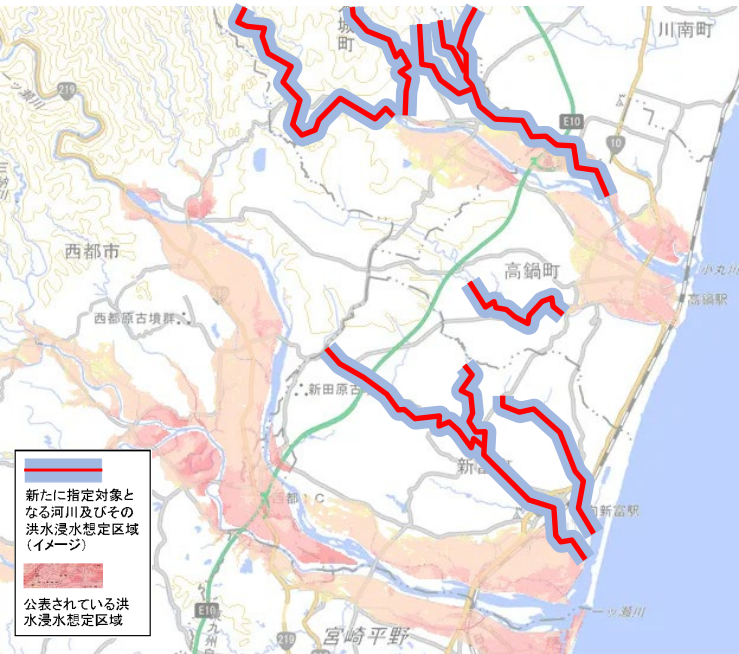
洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白域の解消



<凡例>  
■・・・直轄区間（指定区間外）  
■・・・県管理区間（指定区間）  
■・・・県管理区間（二級水系）

<高鍋土木事務所管内>

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 県管理河川数              | 28 河川 |
| 今後浸水想定区域図を作成する小規模河川 | 28 河川 |



指定対象河川拡大イメージ

| 区分                  | 対策内容           | 実施内容            | 事業主体 | 工 程 |     |     |
|---------------------|----------------|-----------------|------|-----|-----|-----|
|                     |                |                 |      | 短 期 | 中 期 | 中長期 |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 土地のリスク情報の充実・提供 | 未策定区間の浸水想定区域図作成 | 宮崎県  |     |     | 17  |



出前講座・防災学習の実施 【宮崎県 高鍋土木事務所）】

- 毎年6月の土砂災害防止月間を中心に宮崎県では、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」、地区住民を対象とした「土砂災害防止講座」を開催している

土砂災害に対する啓発活動

- パワーポイントや土砂災害の模型を使用し、土砂災害の発生メカニズムや砂防施設効果について説明



土砂災害防止教室  
(土砂災害の危険性の説明)



土砂災害防止教室  
(土砂災害の危険性の説明)



土砂災害防止講座  
(パワーポイントを使用した説明)

【R5対象市町村実績】

| 市町村名      | 土砂災害防止教室 |      | 土砂災害防止講座 |      |
|-----------|----------|------|----------|------|
|           | 実施校数     | 参加者数 | 実施地区数    | 参加者数 |
| 高鍋土木事務所管内 | 1校       | 115名 | 2地区      | 37名  |
| 高鍋町       | -        | -    | 1地区      | 24名  |
| 木城町       | 1校       | 115名 | -        | -    |
| 川南町       | -        | -    | 1地区      | 13名  |
| 流域市町村計    | 1校       | 115名 | 2地区      | 37名  |



防災ポスター掲示



懸垂幕掲示

| 区分                  | 対策内容    | 実施内容         | 事業主体 | 工程 |    |     |
|---------------------|---------|--------------|------|----|----|-----|
|                     |         |              |      | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 防災学習の推進 | 出前講座・防災学習の実施 | 宮崎県  |    |    |     |



## 【令和5年度】施策の取組事例

# 高鍋町

### ■取組(1)水害に強い人づくりの推進

「防災士の養成について」

「自主防災組織の育成支援について」

### ■取組(2)情報伝達のための環境づくりの推進

「防災行政無線「戸別受信機」貸与事業」

# (1)水害に強い人づくりの推進

(1)地域における防災リーダーとしても活躍が期待される防災士を育成するために、防災士養成研修の際に必要な個人負担(試験受講料3,000円＋資格認証登録料5,000円＋納付手数料)の補助を実施しています。

- ・令和6年3月1日現在における町内在住の防災士・・・173名
- ・令和5年度中に補助対象受講者数・・・7名

(2)地域における防災士の推進を図る目的で、防災士取得以降のフォローアップや高鍋町の防災に関する知識の普及などを継続的に行っていくために、これまでに町内の防災士を対象に、出水期前に希望者を募り防災士フォローアップ研修を実施しています。

- ・開催日 令和5年5月14日(日)  
午前10時から(2時間)
- ・開催場所 高鍋町美術館 多目的ホール
- ・内容 ①防災・危機管理について  
②地域防災計画について  
③高鍋長防災リーダー制度等、他
- ・参加者 53名



## (1) 水害に強い人づくりの推進

自主防災組織の育成及び活性化促進のため、防災資機材整備に要する経費として40万円／団体を補助金として1団体に交付しました。

- ・令和5年度補助団体: 畑田自治公民館、竹鳩自治公民館
- ・令和6年3月1日現在での結成状況: 結成地区数 27地区／84地区

町民の防災意識の向上を図ることを目的として、防災に関する出前講座を実施しています。

- ・実施状況: 5回(113名が受講)

|            |               |
|------------|---------------|
| 創価学会       | : 7月12日(28名)  |
| 自立支援協議会    | : 7月18日(18名)  |
| 高鍋高校       | : 9月14日(25名)  |
| 大工小路自治公民館  | : 10月15日(12名) |
| 高鍋町社会福祉協議会 | : 11月30日(30名) |

- ・内容: 地震・津波対策、洪水等の防災対策等について、危機管理専門員による講話



津波浸水区域や土砂災害警戒区域に指定され、かつ防災行政無線放送の屋外拡声子局からの放送が聴こえにくい状況にある地域の世帯に対し、戸別受信機を無償で貸与し、重大な自然災害に対する被害を防止することを目的とする事業です。

・令和6年3月1日現在    貸与：1,465台



## 【令和5年度】施策の取組事例

# 木城町

### ■取組(1)水害に強い人づくりの推進

「住民避難訓練の実施」

「防災出前講座の開催」

### ■取組(4)内水被害軽減に向けた取組の推進

「ワンコイン浸水センサの設置」

## 住民避難訓練の実施

避難所までの経路及び所要時間等の確認を目的に、指定避難所となっている「みどりの杜木城学園」への住民避難訓練を実施した。

実施日：令和5年11月5日

参加団体：四日市自主防災組織

参加者数：30人(20世帯)





## 防災出前講座の開催

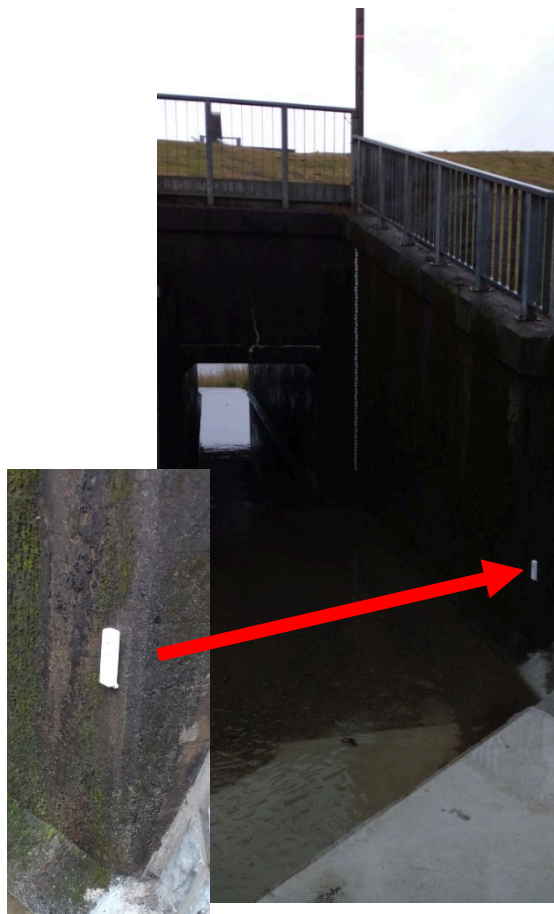
町民の防災意識の向上を図ることを目的として、防災に関する出前講座を開催した。

- ・町公民館（令和5年7月16日。15人）
- ・第2回公民館長会（令和5年8月22日。25人）
- ・比木公民館（令和5年9月17日。18人）
- ・下鶴公民館（令和5年9月17日。12人）



## ワンコイン浸水センサの設置

内水氾濫による浸水状況の早期に把握することを目的に、国土交通省の実証実験に参加し、国土交通省と連携しながら町内2ヶ所にワンコイン浸水センサを設置した。



## 【令和5年度】施策の取組事例

# 川南町

### ■取組(1)災害に強い人づくりの推進

「消防団の魅力発進」

「防災ハザードマップの更新・配布」

## (1) 水害に強い人づくりの推進

## ■ 消防団の魅力発信

消防団の魅力を発信し、若者の入団促進に繋げるため、消防団の年間活動の体験動画を作成し、Youtubeで配信。消防団の活動や動画を紹介するチラシを前期、後期活動分で作成し、町内全戸に配布

## (1) チラシ作成

前期活動分と後期活動分の2回に分けてチラシを作成し、全世帯(約6, 200世帯)に配布  
消防団の活動内容等を掲載





## (2) 動画制作

現役団員のほかに2人のPR団員を任命し、実施に活動を体験してもらう動画を作成  
テレビCMやYoutubeで配信し、消防団の魅力を発信した。

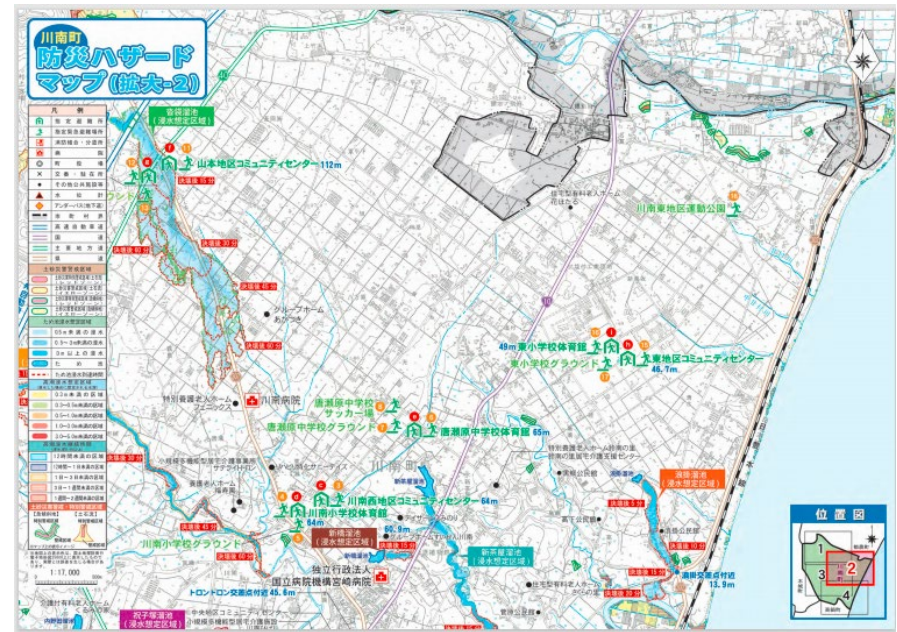


### 【実績】

広告媒体・・・TVCM 14回放送 ／ Youtube 100万回視聴

協力団員・・・延べ71人

- ① 指定避難所、指定緊急避難場所の更新
- ② ため池浸水想定区域の表示
- ③ 高潮浸水想定区域の表示
- ④ 外国語版(3か国)の作成(インドネシア語版／クメール(カンボジア)語版／ベトナム語版)
- ⑤ 拡大版の作成



【地図面(拡大版)】